

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 産婦人科学教室

京都大学 婦人科学産科学教室

記

研究の名称	胎児心拍モニタリングデータを用いた AI による妊娠経過および分娩転帰の解析 検討
対象	2009 年 9 月 1 日から 2030 年 10 月 31 日までの期間に大阪医科薬科大学病院および京都大学病院において、通常診療として胎児心拍モニタリング（CTG）を受けた妊婦さんが対象です。本学では、3,000 例（共同研究機関全体で 5,000 例）を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2031 年 1 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：本研究は、通常診療で取得された胎児心拍モニタリング（CTG）データおよび妊娠・分娩に関する診療情報を研究に利用します。 これらのデータを人工知能（AI）、特に生成 AI を用いて解析することで、妊娠週数に応じた胎児心拍動態の特徴や、分娩転帰との関連を明らかにすることを目的としています。 本研究の成果は、胎児の状態評価や分娩管理の質の向上に役立つことが期待されます。 利用方法：患者さんの診療情報と胎児心拍モニタリング（CTG）を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように

	対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される 予定です。本学主管他機関共同研究につき、京都大学 産婦人科学教 室に個人を特定できる情報を削除した状態で提供いたします。 利用又は提供の開始予定日：実施許可日
利用し、又は提供す る試料・情報の項目	試料：なし 情報：胎児心拍モニタリング、診療記録、妊婦健診経過など
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元すること とで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連し て研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、 または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益 相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保している ことを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規 程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えしま す。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 産婦人科学 講師(准) 永易 洋子 【共同研究機関】 京都大学 婦人科学産科学教室 病院助教 矢内 晶太 京都大学 婦人科学産科学教室 大学院生 石田 憲太郎	
参加拒否の申し出について ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場	

合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。

参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

【主管研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 産婦人科学教室

担当者 永易 洋子

連絡先 072-683-1221（代） 内線 53572

【共同研究機関】

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田近衛町

京都大学 医学部 婦人科学産科学教室

担当者 矢内 晶太

連絡先 075-753-4300

【試料・情報の提供を行う機関】

提供責任者：大阪医科薬科大学 産婦人科学 永易 洋子

研究機関及び研究機関の長：大阪医科薬科大学 佐野 浩一

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 永易 洋子殿

研究の名称	胎児心拍モニタリングデータを用いた AI による妊娠経過および分娩転帰の解析検討
-------	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）